

## 利用上の注意

- 1 表の順位は、数値の大きい都道府県から順に並べてあります。
- 2 同順位の場合は、標準地域コードによる都道府県順に並べてあります。
- 3 表の中で「〇〇年」とあるのは暦年（1月～12月）、「〇〇年度」とあるのは会計年度（4月～翌年3月）を示しています。
- 4 表の数値は、原則として単位未満を四捨五入してあるため、都道府県値の計が全国値に一致しない場合があります。
- 5 周期調査に係る指標値については、前回と同じ数値を掲載してある場合があります。
- 6 摘要欄に当該資料の作成機関名、資料名及び注意事項等を付してあります。
- 7 表中の記号で「△」は減少を示します。
- 8 偏差値について

(1) 偏差値は、指標項目を相対的に比較するため、全国平均を50となるように換算し、指標値の単位の統一化を図ったものです。

しかし、明らかにその値が低い方が良いと思われる指標も同様に計算しているため、必ずしも高い偏差値が良いという判断に結びつくものではありません。

また、偏差値の算出には、各都道府県数値の単純平均値を使用しています。全国値と単純平均値では必ずしも数値が同じにならないため、千葉県数値が、全国値より大きい場合でも偏差値が50を下回る場合があります。

(2) 偏差値の計算方法

$$\text{偏差値} = \frac{10(X - \bar{X})}{S} + 50$$

X：指標データ値

$\bar{X}$ ：指標データ値の平均値

$$\bar{X} = \frac{\sum X}{N} \quad (\sum X : \text{指標データ値の総和})$$

(N：指標データ総数)

S：指標データ値の標準偏差

$$S = \sqrt{\frac{\sum (X - \bar{X})^2}{N}}$$

※本書についてお気付きの点等がありましたら、千葉県企画部統計課企画指導係まで御連絡ください。(☎043-223-2217)